可也公民館たより

２０１８年１１月　１日発行
糸島市立可也公民館　月曜日休館
糸島市志摩初１８番地
TEL／FAX　３２７－１７３４
E-mail：kaya.k@city.itoshima.lg.jp
No.１１２号
公民館だよりは毎月１日発行です

11月11日（日）は福岡マラソン！今年は、どこで応援しますか？

ゴール地点にランナーが到着するのは１０：１５～１５：３０の予定です。

今年で５回目となる「福岡マラソン」が１１月１１日（日）に実施されます。
周辺住民の皆様には交通規制など様々な面でご迷惑をおかけしますが、ご支援ご協力の程よろしくお願いいたします。

可也公民館は、ゴール地点のため選手の更衣スペースとなります。
１１月１１日（日）は、職員や福岡マラソンスタッフ以外は、敷地内に入ることができません。
ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。

《ゲストランナー》
小鴨（こかも） 由水（ゆみ）さん
（バルセロナオリンピック出場）
道下（みちした） 美里（みさと）さん
（リオパラリンピック銀メダル獲得）

≪福岡マラソンサポーター≫吉川 千愛(よしかわ ちあき)さん
(地元アイドルグループ LinQ 三代目リーダー)

声援が力になる！　心ほのぼの！

手作りのぼりで応援します！
可也小学校児童

可也小学校では、昨年に続き３ブロックに分かれ「のぼり」を製作します。
縦割りグループによる活動をとおして、ランナーへ応援メッセージが届くように気持ちを込めて工夫して作っています。
当日も都合のつく子どもさんは、井田原のゴール地点手前で応援するそうです。

ゴール地点で花のおもてなし！
可也校区区長会

可也校区区長会は、糸島市社会福祉協議会・シルバー人材センター・ＪＡ志摩支店・糸島市商工会・志摩郵便局・いとしま応援プラザ・可也公民館と共催でＪＡアグリにご指導・ご協力を得て、ゴール地点での『花のおもてなし』の準備を進めています。
９月１２日は、志摩中央公園円形花壇にコスモスの植栽、１０月５日にはプランターにパンジーを植えました。
当日は色とりどりのパンジーが選手を出迎え疲れた身体を癒してくれることでしょう。

参加チーム募集中！
志摩地区 市民ソフトバレーボール大会

日　時　１１月１８日（日）
受付８時３０分　　開会式９時００分
試合開始　９時３０分
会　場　可也小学校(受付・式典会場)
志摩体育館・引津小学校体育館

参加申し込み締切
１１月 ９日（金）１６時００分

組み合わせ抽選
１１月１３日（火）１８時３０分受付
場所　桜野公民館

≪１１月の主な行事≫

１日(木)　8:50　ぴかぴかシルバー教室・かしまし学級合同社会見学
３日(土)13:30　アンビシャス広場
４日(日)13:00　ふれあいコンサート
６日(火)19:00　区長会
９日(金)　9:00　市同協可也支部フィールドワーク
１０日(土)　可也小「どんぐり祭・遊楽祭」
１１日(日)　福岡マラソン
１３日(火)18:30　SVB 組み合わせ抽選会
１４日(水)10:00　男厨喰楽部(イタリア料理)
１５日(木)10:00　ダーツ kaya
１７日(土)10:00　アンビシャス広場
１８日(日)　8:30　志摩地区ソフトバレーボール大会
２０日(火)　9:50　ぴかぴかシルバー教室(いも収穫)
２２日(木)　9:20　楽々ウォーク(友泉亭公園ほか)
２４日(土)　9:30　アンビシャス広場
３０日(金)19:30　モデル子ども会

☆人権映画祭のご案内☆

日　時　１２月１日(土)１４時～
場　所　健康福祉センター ふれあい

皆さま、お誘いあわせの上ぜひご来館下さい。

本年度の人権映画祭は「じんじん」を上映します。
絵本の里ー北海道の小さな町、剣淵町(けんぶちまち)を舞台に、大道芸人 立石銀三郎と娘の物語。
絵本を真ん中に置きながら、人の優しさや親子の絆をテーマにした映画です。

企画・主演　大地 康雄
出演　佐藤 B作、中井 貴恵ほか

館長の独り言（79 回）

説　教

行楽の「秋」到来！週末の公民館周辺は、趣向を凝らした催し物が開催され遠来の方々で賑っている。お迎えする地元は、樹木の剪定をしたり、草刈りをし、糸島の良さアピールしているのだが、雑草の成長の速さに手入れが追い付かないもどかしさを感じる行楽日和が続いている。

そんなさなか、公民館に先月実施した通学合宿参加児童の母親が窓口に現れ、雑談の中「館長さん、うちの子はあれ以来、夕食作りや後片付けを手伝ったりしてくれます。大変、助かっています。ありがとうございました。」とお礼を言われた。そのあと「しかし、靴は、脱ぎっぱなしで揃えません。」と言葉を続けられた。すかさず、「玄関は、綺麗ですか？家族の方は、靴を揃えていますか？」と尋ねた。少し間をおき、うつむき加減で想像通りの返事が返ってきた。

今年の通学合宿は、初めての試みとして閉所式後に別室で保護者へ私から通学合宿終了後の子どもへの接し方について話す時間をつくった。

話した事は、「子どもは、親の一挙手一投足を見て育っている。『子は親の鏡！』通学合宿は、子どもの成長と同時に親の成長も期待している。」と語った。

終了後、子どもがお母さんに「何の話があったと～！」と尋ねると母親は、「館長から説教された。」と答え、子どもも「ふ～ん？」と云って何事もなかったように帰路に向かった。

私の思いは伝わったかどうかは、定かではないが、私の言葉より説得力ある福沢諭吉の格言で思いを伝えたい。

“家庭は習慣の学校であり父母は習慣の教師である。
しかも、この習慣の学校は、教育を行う学校よりも
はるかに力が有り、極めて大きな効果を与える。“

無花果亭(いちじくてい)やーかー

文化祭ご報告

10 月 27 日(土)・28 日(日)に第９回可也校区文化祭が開催され、サークル・校区の皆さんの素敵な作品展示やステージ発表、手づくり品や食べ物バザー、また日曜日に開催された音楽イベント『可也音民館』もあり盛り上がりました。

準備や運営に関わっていただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。